

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社ヨンキュウ 上場取引所 東
 コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,995	9.7	1,043	29.3	1,209	30.9	617	17.6
25年3月期第2四半期	17,315	9.7	806	99.5	923	91.2	524	43.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 677百万円 (44.2%) 25年3月期第2四半期 469百万円 (21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	53.56	—
25年3月期第2四半期	45.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	25,014	20,839	83.3	1,808.49
25年3月期	23,936	20,300	84.8	1,761.71

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 20,839百万円 25年3月期 20,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,470	5.6	1,350	0.1	1,530	△6.3	976	3.5	84.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	11,556,084株	25年3月期	11,556,084株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	32,799株	25年3月期	32,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	11,523,301株	25年3月期2Q	11,523,370株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法）

当社は、平成25年11月29日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定となっております。
なお、当説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ上に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策などを背景に、円安の定着による輸出関連企業を中心とした業績の好転や消費動向の改善など、景気の回復基調が確認できる状況となりました。

また、養殖業界におきましては、昨年の天然稚魚不漁による稚魚池入れ減少を受け、養殖魚の総在池量は低水準であることから、タイ・ハマチ・カンパチの魚価は高値基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、新規市場の開拓など国内市場における販売シェア向上と業務の効率化・コスト削減に努めてまいりました。また、新規事業（うなぎ養殖事業）に係る設備用地の確保などにも注力してまいりました。

その結果、「鮮魚の販売事業」では、魚価回復と稚魚及び一部の魚種で販売数量が増加いたしました。また、「餌料・飼料の販売事業」でも、販売数量が増加したことにより、売上高は両事業で増収となりました。

利益面では、稚魚、生餌及び配合飼料などの販売数量の増加に加え、魚価の回復により販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金の戻入れ（前年同期は繰入89百万円から当期は戻入れ22百万円の計上）により、各利益は増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は189億95百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は10億43百万円（前年同期比29.3%増）、経常利益は12億9百万円（前年同期比30.9%増）、四半期純利益は6億17百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	平成25年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	平成26年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	11,483	12,164	681	5.9
餌料・飼料の販売事業	5,751	6,763	1,011	17.6
その他の事業	79	67	△12	△15.7
合 計	17,315	18,995	1,680	9.7

（注）セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、ハマチ・カンパチは魚価が高値基調で推移したことから販売数量は減少しましたが、タイ、雑魚及び稚魚の販売数量の増加と販売価格上昇要因により増収増益となりました。

この結果、売上高は121億64百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は1億58百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」では、販売数量の増加に加え、貸倒引当金の戻入れなどもあり、増収増益となりました。

この結果、売上高は67億63百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は9億41百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

「その他の事業」では、売上高は67百万円（前年同期比15.7%減）、セグメント損失は25百万円（前第2四半期連結累計期間はセグメント損失1百万円）となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は206億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億1百万円(4.6%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加(59億80百万円から65億68百万円となり、5億88百万円増加)、現金及び預金の増加(132億33百万円から133億87百万円となり、1億53百万円増加)、商品及び製品の増加(3億59百万円から5億2百万円となり、1億42百万円増加)等によるものであります。

固定資産合計は43億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億76百万円(4.2%)増加いたしました。これは主に無形固定資産ののれんは減少(3億4百万円から2億57百万円となり、46百万円減少)しましたが、投資有価証券の購入等により、投資その他の資産のその他が増加(25億41百万円から27億73百万円となり、2億31百万円増加)したことによるものであります。

この結果、資産合計は250億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億78百万円(4.5%)増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は39億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億15百万円(14.9%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(28億17百万円から29億73百万円となり、1億55百万円増加)と未払法人税等の増加(2億85百万円から5億92百万円となり、3億6百万円増加)等によるものであります。

固定負債合計は1億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円(13.8%)増加いたしました。

この結果、負債合計は41億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億39百万円(14.8%)増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は208億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億38百万円(2.7%)増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(148億96百万円から153億75百万円となり、4億78百万円増加)とその他有価証券評価差額金の増加(1億7百万円から1億68百万円となり、60百万円増加)によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.3%(前連結会計年度末は84.8%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、70億70百万円となり、前年同期に比べ1億18百万円(1.7%)増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億19百万円(前年同期比14.0%減)となり、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上(12億11百万円)、売上債権の増加(5億21百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億60百万円(前年同期比6.3%増)となり、これは主に投資有価証券の取得による支出(1億30百万円)、有形固定資産の取得による支出(51百万円)、定期預金の増加(30百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億38百万円(前年同期比9.4%増)となり、これは主に配当金の支払い(1億37百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしましては、前述のとおり、昨年底調に推移したハマチ・カンパチの魚価も高値基調にあり、また、消費動向も改善傾向を示しております。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上、利益共にほぼ計画通りに推移しており、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,233,826	13,387,123
受取手形及び売掛金	5,980,057	6,568,921
商品及び製品	359,620	502,541
仕掛品	260,710	166,514
貯蔵品	11,839	11,911
短期貸付金	789,628	810,769
その他	105,124	141,084
貸倒引当金	△969,964	△916,785
流動資産合計	19,770,842	20,672,081
固定資産		
有形固定資産	1,877,140	1,900,158
無形固定資産		
のれん	304,692	257,816
その他	2,152	2,107
無形固定資産合計	306,844	259,924
投資その他の資産		
その他	2,541,791	2,773,513
貸倒引当金	△560,278	△591,314
投資その他の資産合計	1,981,512	2,182,198
固定資産合計	4,165,498	4,342,281
資産合計	23,936,340	25,014,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,817,627	2,973,451
未払法人税等	285,869	592,762
賞与引当金	16,750	17,279
その他	344,246	396,493
流動負債合計	3,464,493	3,979,986
固定負債		
退職給付引当金	153,044	146,505
役員退職慰労引当金	17,920	28,958
その他	—	19,142
固定負債合計	170,965	194,606
負債合計	3,635,458	4,174,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	3,124,310	3,124,310
利益剰余金	14,896,827	15,375,743
自己株式	△15,889	△15,958
株主資本合計	20,192,863	20,671,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,956	168,030
その他の包括利益累計額合計	107,956	168,030
少数株主持分	62	29
純資産合計	20,300,881	20,839,769
負債純資産合計	23,936,340	25,014,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	17,315,016	18,995,523
売上原価	14,715,178	16,251,874
売上総利益	2,599,838	2,743,648
販売費及び一般管理費	1,792,871	1,700,443
営業利益	806,966	1,043,205
営業外収益		
受取利息	56,011	56,717
受取配当金	3,808	10,437
投資不動産賃貸料	22,026	18,055
投資事業組合運用益	6,543	59,645
その他	54,355	34,180
営業外収益合計	142,745	179,037
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	10,239	9,698
為替差損	7,323	—
その他	8,193	3,441
営業外費用合計	25,756	13,139
経常利益	923,955	1,209,102
特別利益		
固定資産売却益	2,891	3,113
特別利益合計	2,891	3,113
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	321	235
投資有価証券評価損	2,236	800
役員退職慰労金	99,590	—
特別損失合計	102,149	1,038
税金等調整前四半期純利益	824,697	1,211,177
法人税、住民税及び事業税	219,159	610,993
法人税等調整額	80,666	△16,979
法人税等合計	299,825	594,014
少数株主損益調整前四半期純利益	524,871	617,163
少数株主損失 (△)	—	△32
四半期純利益	524,871	617,196

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	524,871	617,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,125	60,073
その他の包括利益合計	△55,125	60,073
四半期包括利益	469,746	677,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,746	677,270
少数株主に係る四半期包括利益	—	△32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	824,697	1,211,177
減価償却費	60,122	65,280
のれん償却額	46,875	46,875
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,819	△6,538
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△326,451	11,037
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△774	528
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,199	△22,143
受取利息及び受取配当金	△59,819	△67,155
固定資産売却損益 (△は益)	△2,891	△3,109
固定資産除却損	321	235
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,236	800
投資不動産賃貸収入	△22,026	△18,055
投資不動産賃貸費用	10,239	9,698
売上債権の増減額 (△は増加)	△626,893	△521,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,194	△48,797
仕入債務の増減額 (△は減少)	659,436	155,823
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,303	54,576
その他	425,862	△97,986
小計	926,807	770,737
利息及び配当金の受取額	52,943	54,117
法人税等の支払額	△375,568	△305,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,181	519,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△600	△30,600
有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△201,966	△130,647
有形固定資産の取得による支出	△127,314	△51,367
有形固定資産の売却による収入	3,147	3,778
投資不動産の賃貸による収入	22,026	18,055
投資不動産の賃貸による支出	△5,011	△4,861
貸付けによる支出	△241,713	△369,796
貸付金の回収による収入	212,695	253,447
その他	△6,183	51,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244,920	△260,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△69
自己株式の売却による収入	68	—
配当金の支払額	△126,308	△137,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,240	△138,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,323	1,604
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	225,697	122,696
現金及び現金同等物の期首残高	6,725,563	6,947,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,951,261	7,070,123

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,483,288	5,751,775	17,235,064	79,952	17,315,016	—	17,315,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	97,250	97,256	84,860	182,117	△182,117	—
計	11,483,294	5,849,025	17,332,320	164,812	17,497,133	△182,117	17,315,016
セグメント利益又は 損失(△)	152,722	688,883	841,605	△1,725	839,879	△32,913	806,966

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業(一般貨物運送事業、マグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業)であります。

2. セグメント損失の調整額△32,913千円には、セグメント間取引消去における内部利益△4,157千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額18,119千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、新会社「株式会社西日本養鰻」(当社100%出資子会社)を設立いたしました。このことによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,164,949	6,763,195	18,928,144	67,378	18,995,523	—	18,995,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,032	77,750	83,782	83,262	167,045	△167,045	—
計	12,170,981	6,840,945	19,011,926	150,641	19,162,568	△167,045	18,995,523
セグメント利益又は 損失 (△)	158,456	941,886	1,100,343	△25,154	1,075,188	△31,983	1,043,205

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業、マグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業）であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△31,983千円には、セグメント間取引消去における内部利益△4,378千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額19,270千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。